



じゅんさい池整備活動

藤見中学校

活動内容

- 1年 環境の実態調査と森林に対する講演会
- 2年 仕事から見た公園の維持管理とじゅんさい池の整備・清掃
- 3年 周りに伝えるため、松や看板等の維持管理



1年 調査する



じゅんさい池はあまり行かないからどんな木や生き物があるのかわからなかった。



ホタルの里

昔は自然湧水、今は枯渇し、工業用水をいれていました。ジュンサイは笹神村から移入し、蛸は人工飼育です。



周囲を赤松の林に囲まれ、自然が残る2つの砂丘湖からなる公園です。名前の由来のとおり、昔はジュンサイが採取されていました。植物255種類(赤松やニセアカシアや低木、草)動物76種類(魚類6・鳥類68・両生類爬虫類2)

みんなが遊びに行く公園とは違い、道の舗装もされていなくて落ち葉などもそのままです。



雑草などが多く、人が来ません。高い段差や池の周りにちゃんとした柵がなくて、小さい子どもには危険です。



講演会「森林を守り育てよう」

講師 重川 隆 廣 様

車を木で作っている。細かいライトの部分から車体まで、カーブとかキチンとなっていて、すごい器用だな。



200kgの木には100kgの水が入っている！切り株から水が出る！「山は海の恋人」。すべてがびっくり。



はいー1番です。



山が雨水を受け止めて、ゆっくり川に流してくれたり、根が守ってくれたり、自然は人間にとって必要だと思いました。

2年 作業する

地域を大切に、積極的にイベントなどに参加していきたいと思うようになりました。

木の下や通路の掃除をすることで、大切な自然を見つけることができました。

束ね方はこうです。



3年 発信する

雑草が少なくなりました。

実際に見てみると、思った以上に外来種が多かったです。池の整備を続けていくことが大切。



「赤松植樹記念」自分たちの植えた松もすくすく育っていたので、植えてよかったと思いました。

いろいろな人と協力して木を運びました。森林ボランティアの方から、掃除をする理由などいろいろなことを学びました。



子どもの声



とても広くて同じところを通ったり、ここどこ？とわからなくなったことが何度ありました。歩道は舗装ではなく、自然だと思いました。足下にはドングリや葉っぱばかりでした。赤松は意外と多く生えていました。池は結構濁っていましたが、とても広くてびっくりしました。



じゅんさい池の整備活動をして、ふだんは関わる事のない地域の人と、きれいにすることができました。小さい頃から身近にある公園なので、少し恩返しができたと思います。これからもお世話になっていく公園をきれいにできてとてもよかったです。来年も整備活動を通して地域に貢献していこうと思いました。



今回3回目の活動でした。じゅんさい池には私たちが普段見ることのできない貴重な自然がたくさん集まった公園である、ということ改めて感じました。今後も整備活動を続けていき、じゅんさい池公園をもっときれいにし、日本で一番美しい公園を目指していきたいと思います。ゴミを捨てない、外来種を入れないなど、公園を利用するときの行動も意識するべきであると思いました。